

令和3年度水上村農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

水上村の農業は、整備された水田には、水稻をはじめとしてメロン・イチゴを中心とした施設園芸作物が栽培され、水稻との複合経営が確立されている一方、一戸当たりの水田面積は60a程度と零細で10a未満の水田が点在している未整備田においては、自家消費用水稻の単作や野菜のほか保全管理等の水田も多いのが現状である。条件の良い農用地では借り手となる担い手がいるが、山間部の集落は高齢化が進み、担い手の確保が困難であることから、不作付地が増加している。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

○販売体制の整った高収益作物の作付

消費者人口が少ないため、直販では経営の安定を欠くため、販売体制の整ったJAへの共販が主流となる。生産から販売まで地域に適したJAと協力し作付推進を図る。

○新たな市場・需要の開拓

地域特産物として「ふるさと納税返礼品」を新たな市場と位置づけ、返礼品用の作物の作付け推進を図る。

○生産基盤の強化

国・県・村の各種補助事業を活用し、施設・機械の整備を支援する。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

○規模縮小農家

人・農地プランに基づきながら、今後作付け見込みのない未整備田については、林地化を含め非農地化を検討する。整備田については担い手への集積を図る。

○畜産農家

自給飼料生産として、水稻－イタリアン、WCS－イタリアンといった二毛作を推進する。

○水田の利用状況の点検方針、点検結果を踏まえた対応

作付け計画書により利用状況を把握し、農業委員会・農家組合長等の聞き取り等により点検する。また、今後の水稻作に活用される見込みがないか等の点検結果を踏まえ、所有者の意向を確認しながら、畑地化を支援していく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 水稻

ア 主食用米

水上村の主軸となる作物であり、需要に応じた良食味米の計画的な生産・販売、生産履歴記帳の徹底、減農薬栽培による消費者の安心安全志向へ対応した栽培を推進する。作付品種は「ヒノヒカリ」が中心であるが、出穂期の高温による品質の低下、収穫適期が短いため、作期の分散・優良な晩期品種の導入を図る。また、各地区の学校農園事業を活用した食農教育に積極的に参加する。

イ WCS 用稲

畜産農家の自給飼料として推進し、畜産農家と非畜産農家との連携を図り、積極的に取組むこととする。

ウ 加工用米

農地耕作の維持、主食用米の需要に応じた生産を図るため、多収品種への転換による農業者の所得向上に重点的に取組むこととする。

(2) 麦、飼料作物

麦は土作り・排水対策等の基本技術の励行により、品質・生産性の向上を図る。品種、品質、ロットといった多様なニーズに対応するため、生産者へ実需者の情報を提供するとともに、JAと連携を深め振興を図る。

飼料作物は、畜産農家から安定供給が求められているため、二毛作での作付を推進する。

(3) そば、なたね

そばについては、水上村の特産物のひとつであり、農畜産物処理加工施設「山の幸館」における原料そばとしての出荷を推進する。また、近年の天候不順による収穫量が減少しているため、産地交付金を活用したほ場の排水対策の徹底の推進により収量向上を図る。

(4) 高収益作物

収益性の高い施設園芸作物については、キュウリ・メロン・イチゴ・ナスを中心に複合経営の柱として位置づける。安定生産・品質向上を図るための確な作型の推進と共に、安心安全な農産物を供給する。更に、補助事業を活用した施設整備を行うとともに、販路については共販を基本とした契約取引・相対取引の拡大による消費地との結びつきの強化を行い、産地のブランド化・出荷経費の削減へとつなげる。

また、産地交付金を活用し重点品目に位置付けた施設園芸作物（キュウリ等）及び地域振興作物（ナス等）について支援を行い、作付面積の維持・拡大を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物	前年度 作付面積 (ha)	当年度の 作付予定面積 (ha)	令和4年度の 作付目標面積 (ha)	令和5年度の 作付目標面積 (ha)
主食用米	137ha , 567t	137ha , 567t	137ha , 567t	137ha , 567t
備蓄米	0	0	0	0
飼料用米	0	0	0	0
米粉用米	0	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0	0
WCS用稲	14.2	15	17	17
加工用米	0.37	2	2	2
麦	1.33	1.4	1.4	1.4
大豆	0	0	0	0
飼料作物	22.8	23	25	25
・子実用とうもろこし	0	0	0	0
そば	0	0.5	0.5	0.5
なたね	0	0	0	0
高収益作物	6.1	6.4	6.7	7.2
野菜	6.1	6.4	6.7	7.2
畑地化	0	0.1	0.1	0.1

※ 主食用米の当年度、令和4年度、令和5年度の目標値において使用した単収は478kg/10a

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績） 令和2年度	目標値 令和5年度
1	キュウリ、ナス、イチゴ、メロン、スナップエンドウ、アスパラガス	施設園芸作物助成（基幹）	作付面積	4.2ha	5.0ha
2	ナス、オクラ、甘長とうがらし、インゲン、トウモロコシ、スイートコーン、ズッキーニ、ニンニク	地域振興作物（露地野菜）助成（基幹）	作付面積	0.3ha	0.5ha
3	麦、大豆、加工用米、飼料作物、そば、なたね	二毛作助成（二毛作）	作付面積	24.0ha	25.0ha
			水田利用率	92.6%	96.0%
4	加工用米	加工用米出荷助成（基幹）	作付面積	0.4ha	2.0ha
			反収	343 kg	500kg